

千葉 あいご

Vol.
91**Index**

- ① 全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」に参加して
 - ② 障害福祉のしごと魅力発信事業／知的障害者福祉協会インスタグラム
 - ③ 日中活動支援部会一泊研修の報告
 - ④ 中堅職員研修会
 - ⑤ 福利厚生委員会報告
 - ⑥ ⑦ わが施設の自慢・アピールポイント④
新事業所紹介
 - ⑧ 千葉知協トピックス
 - ⑨ 事務局だより・編集後記
- 協会公式Instagram▶
フォローお願いします。



第91号（2025年12月号） 発行日：2025年12月20日／発行者：里見吉英／編集者：畠山正昭・美留町麻未・成川 真

発行所：千葉県知的障害者福祉協会

[本 部] 千葉市中央区中央3-15-6 山長（ヤマチョウ）ビル4F TEL 043-224-5721 HP <https://caid-net.com/>

[事務局] 船橋市金堀町499-1 大久保学園内 TEL 047-457-2462

全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」に参加して

上総ゆうゆうの郷 三國蔵人

会場で競技開始または競技準備となります。

開会式終了後 競技開始となるのですが、コーチ陣

は出場する選手のウォーミングアップや介助引率など

慌ただしくなります。テント内では、選手同士のコミ

ュニケーションの場として、相手を尊重し合いながら

自らの競技準備で程よい緊張の空間となります。

しかし、選手が競技に向かう際には、テントに居る全員が

応援、激励の声を掛けて送るシーンは鳥肌が立つほど

かつこいいです。

そして、「ソフトボールが優勝して金メダルだ！」

等の他競技の一報が入ると「やつたー、すごい」とみんなで喜ぶシーンも千葉県選手団らしく団結している

なあと感じます。

出場した選手たちが最高のパフォーマンスを發揮できただと信じ、また出場したいと競技力向上を目指せる

ような大会になつたのではないかと感じます。

千葉県選手団の役員の皆様のサポートやコーチ陣の行動力、そして何より選手の熱意と笑顔に支えられました。長いようで短い期間ではありましたが、貴重な経験をさせていただけた事、関わっていただいたすべての方々に感謝致します。ありがとうございました。

監督として心掛けた事は、「選手を万全な状態でスタートラインに立たせること」「コーチ陣になるべく少ない負担でスマーズにコーチングや引率ができるようになります」という事でした。

もちろん、競技から離れた時間の選手への生活支援もあり、ホテルの部屋ごとのコーチが中心になり、食事や睡眠時間、起床時等の健康把握を行い、時には緊張している選手や興奮気味の選手へのメンタルケアを行います。

大会期間中、雨天に見舞われ、雨の中での競技もあり、翌日に競技がある選手のシューズやスパイクに新聞紙を入れドライヤーで乾かし、ユニフォームなどはコインランドリーに行き洗濯、乾燥させるなど、出来るだけ選手が競技におけるストレスを少なくするサポートを行う事も大事なことです。

開会式の日が一日目になるので、陸上競技とボウリング競技、千葉県選手団役員が入場行進を行い、その他競技については開会式へは参加せず、それぞれの



円陣を組む選手団



雨の中、力走する選手

初年度は欲しい人材のターゲット（ペルソナ）を新卒の大学生に設定しました。25歳以下の職員を対象にインタビューを行い、ターゲットの方が欲しいだらうと考える情報をQ&A方式で載せる動画を撮りました。せつかくの機会ですので、ここでどんなことをインタビューしているか紹介すると、「福祉業界を選んだのはなぜですか。」「この仕事を選んだきっかけはなんですか。」「休日どのように過ごしていますか。」「職場の雰囲気・環境はどうのようなものですか。」等、具体的な質問をしています。この情報は会社に訪問しない質問しないとわからないような内容となっています。就職活動でたくさんの職場見学に行くのはとても大変です。このインスタグラムを見るだけで県内多くの事業所の若手職員がどんな考え方で福祉業界に入ってきたのか、どんなことをしているのかがわかるようなコンテンツを目指しているので多くの学生の方にこのコンテンツを視聴していました。

千葉県知的障害者福祉協会のインスタグラムは2024年9月に立ち上げ、最初の動画は10月に動画の勉強会を投稿することでスタートしました。インスタグラムというと馴染みが無い方もいらっしゃると思うので、どんなものなのかをまず紹介します。インスタグラムは写真や動画をたくさんの人と共有することを主な目的とした無料のSNSで、世界中で多くのユーチャーに利用されており、特に若年層からの支持が高いコンテンツです。それでは当協会がインスタグラムを通して、どんなことを発信したいかというとズバリ人材募集です。動画や写真を通して福祉施設で働く職員を紹介する中で、県内事業所の楽しい取り組みや働き方に興味を持つていただき、一緒にやってみたいたいと思つていただけるようなコンテンツを目指しています。

るく元気、そして頭の回転が速く前向きな方が多いので、もつともつと素晴らしいインスタグラムになつていくと考えています。ハードルを上げすぎると注意されそうなのでこれくらいにします。

最後にこの記事を読んで下さった皆様が、周囲の方に「こんなインスタグラムがあるよ。」と紹介していただけたら、いつかそれが巡り巡って福祉業界に就職してみたい方に届くかもしれません。まずはご家族・ご友人に紹介していただけたら嬉しいです。よろしくお願ひ致します。



令和7年10月9日～10日にかけて日中活動支援部会一泊研修が東葛地区で開催され、32名が参加されました。

日中活動支援部会長
小田切 紅子

1日目は社会福祉法人佑啓会ふる里学舎浦安施設長 堀金氏による事業説明後、施設内の見学をさせていただきました。浦安市の中心に位置する『浦安市東野地区複合福祉施設東野パティオ』は佑啓会の他に他法人が運営する事業所や市が管理する地域福祉センターです。外観から洗練されていた建物は浦安市と佑啓会などで明確なイメージを持つて協議を重ねて設計に携わってきたことで、内装も随所にこだわりが感じられ洗練された空間となっていました。ふる里学舎浦安は東野パティオ内に通所棟と居住棟を構え、通所棟は1階に身体障がい者を対象とする生活介護と就Bがあります。居住棟では1階に放課後等デイサービスと市の受託事業である子育て短期支援事業、2、3階にはGHがあり、GHは「通過型」とし、将来を見据えた利用としています。通所棟、居住棟にはそれぞれの事情に合わせて和室があつたり、開放的なテラスがあつたりとホテルのようなおしゃれな空間が広がっていたり、一つの大きな部屋の中に作業空間、個別になれる空間、お手洗いなどがあることで職員が把握しやすく対応できる空間になっているなど、利用者さんの過ごしやすさ、職員の働きやすさを考慮された造りになっていました。様々な事業内容の中でも障がい者緊急時の手帳所持者が対象で事前登録している方に対し、職員が24時間365日対応しているとの

ことでした。緊急連絡の内容は多岐にわたるようで、様々な緊急要請に職員の方々が対応されている話しを伺い、このようなサービスの重要性を改めて認識できたこと、またその相談に対し、職員の皆さんのが真摯に対応されていることに感銘を受けました。

一泊研修の醍醐味でもある情報交換会は宿泊先でもある新鎌ヶ谷へ。堀金施設長の乾杯で始まり、今日の見学の感想やそれぞれ自身の事業所が抱えている課題や取り組みなどを熱心に語り合う姿は、協会の事業所同士の繋がりを感じさせる光景でもあり、あつという間の3時間でした。

2日目の見学は松戸市を中心に事業を展開している社会福祉法人まつど育成会。今回は就Bのキラナ、生活介護のかりん、あゆーる、まつぽつくりの作業棟を見学させていただきました。生活介護と共生型放課後等デイサービスを提供しているかりんでは、夕方になると放課後等デイサービスを利用されている子どもたちが、プログラムの中で室内の廊下でローラースケート

電気やエアコンのスイッチも目に触れる場所に
はなく、スマホで操作できるようになつていて
りと細部にわたり、こだわりを感じられました。
現在、改修中のユニットも既にこだわりと早坂
統括施設長の想いがたくさん詰まつていて、こ
ちらも完成したら素敵な空間になるのだろうと
想像でき、完成したら是非もう一度お伺いした
いと思いました。

どちらの法人も利用者、職員の過ごしやすさ、
働きやすさなどをとても大切にされている印象
を受けました。事業内容の説明はもちろん、他
事業所の細部まで見せていただける機会は多く
ないため、とても有意義な時間となりました。
また、見学者の私たちを迎えてくださる職員の
皆さんの姿勢もさすがと感心させられました。
今回ご対応、参加していただいた皆様と時間を
共有し、意見交換できたことも嬉しく感じ、こ
れからも学び続け、繋がりを大切にしていきた
いと思いました。

佑啓会様、まつど育成会様本当にありがとうございました。

どちらの法人も利用者、職員の過ごしやすさ、働きやすさなどをとても大切にされている印象を受けました。事業内容の説明はもちろん、他事業所の細部まで見せていただける機会は多くないため、とても有意義な時間となりました。また、見学者の私たちを迎えてくださる職員の皆さんの姿勢もさすがと感心させられました。今回ご対応 参加していただいた皆様と時間を共有し、意見交換できたことも嬉しく感じ、これからも学び続け、繋がりを大切にしていきたいと思いました。

どちらの法人も利用者職員の過ごしやすさ働きやすさなどをとても大切にされている印象を受けました。事業内容の説明はもちろん、他事業所の細部まで見せていただける機会は多くないため、とても有意義な時間となりました。また、見学者の私たちを迎えてくださる職員の皆さんの姿勢もさすがと感心させられました。今回ご対応、参加していただいた皆様と時間を共有し、意見交換できることも嬉しく感じ、これからも学び続け、繋がりを大切にしていきたいと思いました。

佑啓会様、まつど育成会様本当にありがとうございました。



まつど育成会にて



佑啓会にて

中堅職員研修会に参加して

社会福祉法人 清輝会
エルピザの里

羽村 幸雅



グループワークの様子

今回の研修を受け、より専門的な技術や知識を学ぶことが出来ました。

2日間を通じてそれぞれの意見や発表を聞き、分かった事は個々の支援技術には限界があること、それを支える為にチームでの連携や情報共有が重要であることを改めて認識しました。グループワーク等を通して職員同士の意見を交わし、お互いの経験や考えを改めて整理する事で結論に結び付け、日頃の業務や利用者様への支援で見落としがちな視点に気付く事が出来ました。

また、勤務年数や年齢が違った人の中での研修だった為、自信や责任感といったものもそれぞれ違う事に気が付きました。

中堅職員研修会に参加して

社会福祉法人 翡翠会
山武みどり学園

松本和子

施設勤務年数3年目～7年目の職員を対象とした本研修では、知的障害者（児）支援に必要な専門知識や、質の高い支援力についての講演が行われました。

初日の講演では、特に「質の高い支援力を身につけるためのポイント」での、虐待と適切な支援の境目（グレーボーン）についてや身体拘束適正化についてがテーマでした。現在支援している利用者様を思い浮かべ、私自身の支援は果たして適切なのであるかと省みる良いきっかけとなりました。また、現在私自身は、新人職員のメンターとして、指導や助言・精神的なサポートを行っている立場なのですが、「チムとは」の議題では、大変参考になる話を頂きました。「物事の見え方はそれぞれ異なる、だ

の向上に繋げて行けたらと考えています。私は、この研修を振り返り思つた事は、支援を客観的に見直し、課題を明確化することで利用者様のより良い生活を育んで行く為の工夫を学ぶことができました。

本研修にて他の施設の方々と交流をすることにより、知識だけにとどまらず、職員同士のつながりの重要性を学ぶことができました。

今回の研修で、学ぶだけでなく他の施設の方々の話を聞くこと全てが新鮮で、同時に普段の自身の支援を振り返る事が出来ました。

今回一番学んだことは、他者の意見も重要なが、自分の支援に自信を持ち、取り組んでいくことだと思います。

今日はありがとうございました。



講義の様子

この仕事を続けていく間で迷った時期も多く、どのようにしたら成長できるのかと思いついた所にこのような学びの機会を持つ事が出来ました。同じことを考えているのは、自分だけない事を知ることができ、今後は自身の支援を整理し、支援力

支援の方向性や今後この仕事を続けていく間で支援に深みが出て来る」。発表を締めくくる言葉でしたが、おそらく誰しもが一度は感じている「続けていくことの難しさ」、今までに私自身も直面していることで、大変励みになりました。今でも時折、その言葉を思い出しても、自身を奮い立たせています。

私は自身、社会人になつてから宿泊を伴つた外部研修へ参加する事が初めてだった為、緊張もありましたが、夕食時の情報交換会やグループ討議、同部屋だった他施設の方々との交流が大きな刺激となり、自身の視野を広げる貴重な経験となりました。本研修を通じ、職場でも頼もししい存在となるよう、より一層知識を深め、常に利用者の目線に立ち支援ができるよう努めたいと感じました。

からこそ『同方向』横に並んで『会話することが重要である』。「新人育成ではコミュニケーションが大事である、そしてコミュニケーションが大事である、ヨンは質より量である』。これらは今後しっかりと実践していくたいと思います。

2日目の実践発表では、福祉・支援分野における様々な課題と、それに対する実践的な取り組みについて深く学ぶことができました。特に、高齢化や発達支援といったテーマについて、課題解決に向けたアプローチ方法を聞くことができました。「自分だつたらどのようないふり組みについて深く学ぶことができました。」

特に、課題解決に向けたアプローチ方法を聞くことができました。「自分だつたらどのようないふり組みについて深く学ぶことができました。」

福利厚生委員会報告

福利厚生委員長 中村敏久

2025年12月20日

第8回施設職員交流野球大会



球大会は6月
に予選大会・
7月に決勝大
会として参加
開催しました。

大会出場チーム

2位 福利厚生委員長賞
千手会+福葉会+光明会連合
3位 敢闘チーム賞
千葉地区・大久保学園・心聖会
4位 野榮福祉会+八光聴連合
千葉地区・みらい工房+手をつなぐ育成会+リベルタス連合

5位 例年通りに6
月の予選会で
はナスパスタ
ジアム・大谷
津球場・中台

6位 県南地区
社会連合
7位 千葉地区
・佐啓会(2チーム)

8位 北総地区
・野榮福祉会+八光聴連合・ロザリオの聖母会
9位 成田地区
・千手会+福葉会+光明会連合・清郷会+みのり福
10位 県南地区
・安房広域福祉会・みづき会

計11チーム

千葉あいご

5 第91号

今年度も無事に職員交流野球大会が開催できた事に感謝しております。また来年度も多くの参加をお待ちしております。ありがとうございました。

球場の3球場でのトーナメント戦を行い各球場の上位2チームが決勝トーナメントへ進み敗者チームは福利厚生トーナメントへと7月の決勝大会は2球場での開催と考えておりました。しかし今年も大変な猛暑! 2球場での開催とすると1チームの試合数が多いのではないかと…そこで選手の健康面を考慮し決勝大会も3球場で実施と変更し1チーム最大2試合までとしました。

今年度も無事に職員交流野球大会が開催できた事に感謝しております。また来年度も多くの参加をお待ちしております。ありがとうございました。

見事大会6連覇!! (佐啓会Aチーム)

今年も安定の強さ! 見事に大会6連覇となりました。今年の決勝は同法人チームでの対戦となりお互いに手の内を知つた者同士なのでひょっとしたら? とは思いましたが…やはりAチームは強かつた!! 6連覇あっぱれ!

惜しくも準優勝! (佐啓会Bチーム)

今年の決勝はまさかの兄弟対決!! 若いもんには負けれん! とかつてAチームに所属していたであろう先輩職員達の目がギラリ★終盤まで拮抗した試合展開に先輩職員の意地が見えましたが…結果は惜しくも準優勝。しかし良い試合でした!

大会結果

第2回施設職員交流ゴルフ大会

職員交流ゴルフ大会はCPGカントリー倶楽部にて9月26日・48名参加・12組での開催でした。昨年は悪天候により順延し皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、今年は天候に恵まれ無事に開催できた事に感謝致します。また来年も数多くの参加をお待ちしております。ありがとうございました。

大会結果

優勝 菜の花会
準優勝 野榮福祉会

3位 ベスグロ

4位 福葉会

5位 岩館

6位 八光聴

7位 原田美彩子

(敬称略)

大会参加法人

佐啓会・大久保学園・菜の花会・野榮福祉会・心聖会・福葉会・清輝会・みらい工房・安房広域福祉会・八光聴・みづき会
計11法人48名

惜しい! 1点差での準優勝! (ふる里学舎和田浦チーム)
職員交流野球大会に統いてフットサル大会でも兄弟対決となり職員層の厚さにも驚きました。この和田浦チームには女性選手があり優秀選手にも選出され大活躍でした! 試合は惜しくも最少失点での敗退となりましたが次回以降の優勝候補と言つても過言ではないチーム力でした。

大会結果

優勝 ふる里学舎
準優勝 ふる里学舎和田浦

3位 福利厚生委員長賞

4位 心聖会

5位 敢闘チーム賞

6位 クローバー会

大会出場チーム

東葛地区・ふる里学舎・クローバー会・みらい工房
北総地区・八光聴
成田地区・菜の花会・清郷会・清輝会・千手会
県南地区・ふる里学舎和田浦・安房広域福祉会・みづき会



お見事!

全試合無失点での大会2連覇!!
(ふる里学舎和田浦)

決勝までの3試合で無失点! 鉄壁のディフェンスからの攻撃は圧倒的でした。フットサルにおいても連覇が続くのか!! 果たしてこの佐啓会の牙城を崩すチームが現れるのか?! 今後も楽しみとなります。

第30回施設職員交流バレーボール大会

施設職員交流フットサル大会が11月20日パデル&フットサル晴れのち晴れにて開催されました。今回は2回目ともなり参加チーム数も増え14チームとなり試合内容もPK戦まで繰り込む拮抗した試合もあつたりと大変盛り上がりました。また会場の関係上タイトな試合スケジュールにも拘らず参加チームの皆さ

ます。今年度は1月15日に千葉ポートアリーナで開催となつております。

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント④

平成20年度から48回にわたり114の“プチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は3つの“プチ自慢”です!

千葉ブロック・社会福祉法人九曜会・こころふる浜野

~共に楽しみ豊かな生活~

こころふる浜野は平成28年の4月に生活介護事業所として開設し、現在は生活介護及び単独短期入所サービスを行っています。日中活動は「ワーク班」と「アクティブ班」に分かれて活動しており、「ワーク班」では割り箸の梱包作業を中心に企業からの外注作業をメインに行っており



こころふる浜野外観

ます。また外注作業以外ではキーホルダーやヘアピンの作品作りなども行っています。「アクティブ班」では公園やショッピングモールへの散歩や室内でのダンス、体操などの運動をメインとした班となっております。また運動だけでなく、作品作りとして手作りキャンドル製作なども行っています。ご利用者が製作した作品はバザーや近隣の学校の文化祭などで販売しております。所在地は千葉市中央区の住宅街の中にあり、月に2回近隣の方のボランティア活動の受け入れを通じ地域の皆様との繋がりを大事にしながら運営しております。余暇活動では



アクティブ班作品



ワーク班作品

お菓子作りやレストランでの外食、様々な季節行事など沢山行っていますが一番のイベントは保護者合同忘年会です！日頃、施設を利用されているご利用者と保護者、そして職員と一緒にゲームや昼食作りなど様々な催し物をみんなで楽しみ、最後はスライドショーで一年を振り返るのが毎年の恒例となっております！こころふる浜野は本当に多くの方に支えられ成り立っているとの感謝を忘れず、これからも多くの方と手を取り合って運営していくべきだと思っています。

リーダー支援員 本山 雄大

東葛北部ブロック・社会福祉法人つくばね会・おおばん

~「共に生きる」を理念に、励まし合い元気に日々を送る~

我孫子市にあるおおばんは現在22名、19歳～79歳の利用者が元気に働いている就労継続B型事業所です。作業は「弁当製造」「農作業」「病院清掃」「公園清掃」等を行っています。利用者の方は好きな仕事を好きな日数で選択しているため固定班はなく、様々な作業に日々取り組みスキルを上げています。ある利用者の方は平日5日のうち2日を弁当班2日を農作業班1日を病院清掃に割り当てていますが、弁当班では鮭やサバの焼き魚を担当、農作業班では収穫や種まき除草などをを行い、病院清掃では一般的な業者の方と挨拶を交わしながら委託作業を行っています。それぞれの作業で得意なことを発見し、得意なことを伸ばすことにより苦手なことにもチャレンジしてみようという意欲も湧いてくるようです。

また「おおばん」の大きな魅力は“利用者の方が仲間をとても大切に思っていること”です。元気がない様子の仲間には皆積極的に「大丈夫?」「どうしたの」と声をかけ励ます姿が当たり前にあります。職員を呼びに来



お昼の宅配弁当作り



平和台病院清掃のリネン交換



猛暑で尖ったキャベツです

て解決するのではなく自分たちで仲間を元気にしてあげたいという優しさがそこにはあります。高齢で足元が不安な方の隣には支えようと側で寄り添う仲間もいます。人のために何が出来るかを考え行動する姿を、いつもともに誇らしい気持ちで見守っています。これからもおおばんらしいアットホームで温かい活動の場を利用者職員共に築いていくべきだと思っています。

管理者 栗原 千鶴

東葛北部ブロック・社会福祉法人まつかぜの会 豆のちから

～モチベーションを生み出す秘訣～

就労継続支援B型事業所豆のちからは、障害があっても地域で働き、自立した生活を送れるようにという思いのもと、平成18年11月に知的障害者小規模作業所「とうふ工房豆のちから」として開設しました。

豆のちからは、地域に根ざした豆腐屋です。

活動の中で最も大切にしているのは、「自分たちで作り、自分たちで売る」ということです。お客様からお金をいただく以上、製品作りに妥協はありません。出来なくとも真剣に取り組む姿勢を求め、厳しく声をかけることもありますが、利用者の製造への意欲はとても高く、日々の現場には活気があります。

その意欲を支えているのが販売活動です。自分たちが作った商品を利用者自らが販売し、そして用意した商品が完売し、無くなること。また「美味しかったよ」「今度はもっとたくさん持ってきてね」といったお客様の声を直接聞けることが、大きな励みになります。販売を通



店舗



豆腐作業

じて“目で見て”“耳で聞いて”成果を実感できるからこそ、次の製造へのモチベーションにつながります。この循環こそが「自分たちで作り、自分たちで売る」という豆のちからの強みであり、自慢でもあります。

また、現在はインスタグラムでの発信にも力を入れています。単なる情報発信のツールではなく、「交流の場」としてフォロワー1万人を目指し、日々の活動や利用者の生き生きとした姿をお届けしています。ぜひフォローをお願いいたします。

主任 浦野 匠介

このたび、社会福祉法人野栄福祉会で新たに『生活介護事業所 すべてつぶ栄』を令和7年4月に開設いたしました。本事業所では、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、その人らしい生活の実現を目指して日中活動の支援を行ってまいります。安心して過ごせる環境の中で、個々の能力や意欲を生かしながら、生活



施設の外観



活動の様子

～生活介護事業所すべてつぶ栄～ 開設のご挨拶～

すてつぶ栄

新事業所紹介

このたび、社会福祉法人野栄福祉会では新たに『生活介護事業所 すべてつぶ栄』を令和7年4月に開設いたしました。

本事業所では、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、その人らしい生活の実現を目指して日中活動の支援を行ってまいります。安心して過ごせる環境の中で、個々の能力や意欲を生かしながら、生活

域には、特別支援学校が2校あり、在学中から卒業後まで一貫した連携体制を築くことができる恵まれた環境があります。これらの学校や関係機関等と連携を図りながら、一人ひとりの成長や生活の継続性を支えてまいります。『すべてつぶ栄』は、身体的・知的に重度な障がいのため作業への参加が難しい方にも、穏やかに安心して日中を過ごせるような事業所です。個々のペースを尊重し、感覚遊びやリラクゼーション、音楽・交流活動などを通して、心の安定と豊かな時間の創出を目指します。

私たち、『すべてつぶ栄』が地域の一員として親しまれ、信頼される存在となるよう努めてまいります。今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

管理
辻 内 理 章

千葉知協 トピックス

スポーツ文化委員会 藤崎 明

第32回 千葉県障害者 フライングディスク大会

10月2日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で総勢404名のエントリーをいただけ、「第32回 千葉県障害者フライングディスク大会」が開催されました。当日は、晴天の中フライングディスク競技を参加者の皆さんに楽しんでいただきました。



アキュラシー団体

(男子) 第1位 八日市場学園／第2位 中野学園

(女子) 第1位 印西市立福祉作業所 コスマス

(男子) 第2位 八日市場学園／第3位 中野学園

(女子) 第1位 中野学園／第3位 八日市場学園

(男子) 第1位 八日市場学園／第2位 しもふさ工房／第3位 佐倉福葉苑

(女子) 第1位 しもふさ工房／第2位 八日市場学園

(男子) 第2位 佐倉福葉苑／第3位 中野学園

(女子) 第1位 ひかりAC／第3位 ひかりAC

編集後記

おおはし園 成川 真

今回の「わが施設の自慢アピールポイント」で東葛北地区から2施設の方に原稿を依頼する担当をさせて頂きました。今まで私ども縁があつたわけでもないところ、快く受けさせてください、また依頼するにあたり色々な施設を調べるのに「こんな事業をされてるんだ素敵だな」と感銘をうけました。そんな素敵な事業所がきっと千葉には沢山あるのではと思いました。

千葉県ゆうあいピック ソフトボール選手権大会

晴天の下、果敢なプレー



南部地区

開催日	令和8年3月13日(金)～15日(日)
会場	イオンモール木更津
事務局	ふる里学舎蔵波

中部地区

開催日	令和8年2月13日(金)～15日(日)
会場	ユニモちはら台
事務局	中野学園

第53回「手つなぎ作品展」開催のお知らせ

3位…オリーブファイターズ
小林賞（初戦敗退チーム同士の試合で最大得点差チーム）…市川大野高等学園
最優秀応援団賞…千葉市手つなぎ育成会

団体総合	八日市場学園／第2位 中野学園
(男子)	第1位 佐倉福葉苑
(女子)	しもふさ工房・八日市場学園
団体男女総合	ひかりAC
第1位	八日市場学園／第2位 中野学園
第3位	ひかりAC

I部(公式ルール)	優勝…とまりぎソフトボールクラブA
II部(全国障害者スポーツ大会ルール)	準優勝…ふる里学舎A 3位・大久保学園
優勝…とまりぎソフトボールクラブB	準優勝…流山高等学園

事務局便り

事務局長 千日 清

2027年1月千葉知的障害者支援施設全国大会に向けた実行委員会が設置されました。これまでにも多くの大会を開催してきた一枚岩の千葉知的報酬改定を前にした濃い大会となりますよう。